

ザ・バーン・マガジン通信

女子学生 インタビュー

理工系の室蘭工業大学で、生き生きと学生生活を送る女子学生たちにインタビュー！進学を決めた理由や、現在学んでいることなどについてお話しいただきました。将来の目標に向けて前向きに学ぶ姿を見て、「理工系って面白そう！」「私もやってみたい！」と感じる中高生の皆さんが一人でも増えることを期待しています。

室蘭工業大学を志望した理由

高校までずっと文系科目の方が得意だったのですが、親や周りに理系の人が多く、理系に興味がありました。将来やりたいことを考えても、文系だとあまり思い浮かばなかったのですが、理系だと研究に憧れがあって、理工学部を志望しました。ただ、高校では理系の科目では思うように良い点が取れなかったのですが、頑張って勉強して、第二志望の室蘭工業大学に入学しました。地元の札幌がある北海道内の大学を志望していたのも、決め手の一つです。

室蘭工業大学に入学してみて

理系の大学は、休みがなく、毎日やらないといけないことがたくさんあって、寝る暇も遊ぶ暇もないイメージがありました。大変な時は大変ですが、今のところは生活にメリハリをつけて、思っていたよりは大変ではないです。講義によっては高校とはシステム

が違って、例えば、週によって先生が変わる講義があって、成績の付け方が少し複雑で失敗してしまいました。ただ、大学ではたくさんの講義が受けられるので、色々な専門の先生の話が聞けて楽しいです。高校では決められたことを勉強している感じがしましたが、大学での勉強は多彩なように感じます。

耳の障がいによる不自由さ

私は感性性難聴の症状を持っています、他の人とは違って音が聞こえます。音が分からない時だと、音が混ざって、ぐちゃぐちゃになる感覚です。水の中にいるような、音がいっぱいになる時があります。講義中、先生が話している中で雑音があると、聞き漏らしがないか緊張感があります。普段は補聴器をつけていますが、先生にマイクを使ってもらえるとありがたいです。ただ、グループワークでは、先生にマイクを使ってもらおうと、他のグループでの話し声をマイクが拾ってしまったり、上手く音を聞き取れなくなったりします。グループワーク内の同じグループの友だちとの会話では、会話の内容を何回か確認しながら作業を進められると助かります。

大学のサポート

私は障がい者コミュニティで知り合った友だちとも連絡を取っているのですが、大学によっては、手話のサポートがあったり、大学が集めた学生によるノートテイキングのサポートがあったりします。障がいを持つ学生からの要望を受け入れない大学や高校もある



室蘭工業大学
システム理化学科 1年

小倉 和菜さん



ようですが、室蘭工業大学では、何か相談した時には「まずはやってみます」「努力します」の対応をしてくれるので、ありがたいと思っています。

女子中高生と 障がいを持つ中高生へ

今思えば、高校のうちにチャレンジしたかったこともたくさんあります。例えば、理系大学への進学は無理なのではないかと思い、オープンキャンパスに行くのが億劫になったりしまし



に進み、先生の話が理解できなくて、一人で怯えたりする人もいますが、助けてくれる先生は絶対いるはずなので、分からないことは先生に言ってみてください。自分の言いたいことを言えた方が絶対いいです。

[illegible]